

日本計算工学会 論文賞を受賞しました (2021/5/19)



テーマ：計算工学、受賞

場 所：(一社)日本計算工学会 2021 年度定時社員総会・第Ⅱ部表彰式(オンライン)

URL：<https://www.jsces.org/award/index.html>

日本計算工学会は、計算工学の発展に顕著な貢献をしたと認められる論文の著者に対して論文賞を授与しています。この度、外里健太氏(東北大学工学研究科土木工学専攻 計算安全工学研究分野 博士課程後期)、小谷拓磨氏(日本工営株式会社)、波多野僚氏(鹿島建設株式会社)、高瀬慎介准教授(八戸工業大学)、森口周二准教授(計算安全工学研究分野)、寺田賢二郎教授(同分野)、大竹雄准教授(東北大学工学研究科)の7名の連名で「数値解析結果の空間モード分解による津波のリスク評価」と題した論文が、2020年(令和2年)度日本計算工学会論文賞を受賞しました。表彰式は、2021年5月19日(水)にオンラインにて開催された、2021年度定時社員総会の第Ⅱ部において行われました。

本論文は、数値シミュレーションとデータサイエンスの技術を融合し、津波の確率的リスク評価を低い計算コストで実現する枠組みを提案したものであり、防災・減災における数値シミュレーションの効率的な活用を可能とするものとして、その有用性と発展性が高く評価されました。

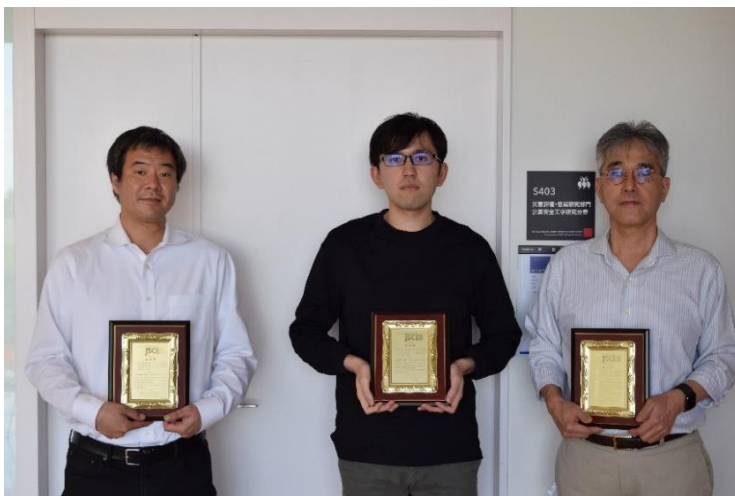
受賞論文

題目：数値解析結果の空間モード分解による津波のリスク評価

著者：外里 健太, 小谷 拓磨, 波多野 僚, 高瀬 慎介, 森口 周二, 寺田 賢二郎, 大竹 雄

日本計算工学会論文集, 2020年, 2020巻, p. 20200003.

DOI：<https://doi.org/10.11421/jsces.2020.20200003>



文責：森口周二(計算安全工学研究分野)